

前回報告（7月27日）以降の検討経過について

平成17年11月25日

診療報酬調査専門組織慢性期入院医療の包括評価調査分科会

分科会長 池上 直己

○7月27日診療報酬基本問題小委員会以降の検討経過について

- ・ 当分科会においては、中央社会保険医療協議会基本問題小委員会の付託を受け、慢性期入院医療について、患者特性や医療提供状況等に応じた慢性期入院の包括評価を行うための検討を行ってきており、平成17年7月には診療報酬基本問題小委員会に患者分類試案と本年度調査の実施について報告を行い、了承を得た。
- ・ その後、了承された内容に沿って「患者分類試案妥当性調査」及び「慢性期入院医療実態調査」を実施し、その結果概要は別添1及び別添2の通りであった。
- ・ また、当分科会では「患者分類試案妥当性調査」の結果を踏まえ、慢性期入院医療の現場の専門家及び高齢者医療の専門家からの意見聴取も行った上で、「患者分類案」について更なる検討を行い別添3のような「患者分類案」をとりまとめたところである。
- ・ 今般、これらの経緯について概要を報告する。

○検討等の日程

平成17年 7月27日 診療報酬基本問題小委員会

- ・患者分類試案及び平成17年度調査実施について報告

平成17年11月 2日 第3回分科会

- ・前回分科会以降の経緯について（報告）
- ・平成16年度調査の追加集計結果について（報告）
- ・患者分類案妥当性調査結果概要（報告）
- ・患者分類案について

平成17年11月11日 第4回分科会

- ・「慢性期入院医療実態調査」（中間集計結果）について
- ・患者分類案について

平成17年11月25日（本日） 診療報酬基本問題小委員会

- ・検討経緯について報告